



## 今年度のESDの重点目標（取組）

人を取り巻く環境に対する概念（多様性・相互性・有限性）

### 【令和4年度 ESD 実践報告】

#### 01 ゴミの量を減らそう プロジェクト

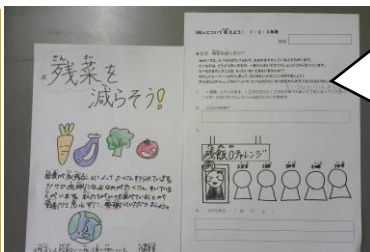
環境委員会の児童が中心となって行った活動。実際に八千代台小学校では、一日にどれぐらいのゴミが出ていて、一年間にするとどれだけの量に値するのかを提示することで、多くの児童が自分たちの問題として捉えることができた。そのうえで、必要以上にゴミが増え続けてしまうことによって起こる環境問題について知り、ゴミを減らすことの必要性を、全校の児童が知るきっかけとなった。



担当児童による、説明の様子。環境委員会の子ども達が各学級を訪問し、ゴミ削減への呼びかけを行った。

#### 02 残飯0チャレンジのスタンプラリー

代表委員会の児童が中心となって行った活動。上記の「ゴミの量を減らそう プロジェクト」とタイアップして行った。給食の残菜を減らすことが、ゴミの量を減らすことにもつながることを、より感じられるように行うことができた。また、スタンプラリー形式という、新しい形式にしたことで、下学年も楽しみながら取り組むことができ、結果として食缶への残菜が少なくなった。食べ物の大切さや、毎日給食が食べられることに対して、感謝の気持ちをもつきっかけとなった。



代表委員会の子ども達が作成したポスターとスタンプラリー一用紙。



#### 03 子ども達同士のコミュニケーションを核とした授業改善



全ての教科において、子ども達同士のコミュニケーションを大切にしながら授業が展開できるよう、職員も教材研究に努めた。コロナ禍に配慮しながら、話し合いやグループ活動を行ったり、タブレットのアプリケーションを有効的に活用したりするなど、学年や学級の実態に合った方法を模索しながら授業を展開した。